

Message from the President

事業や人材を創造し続ける 総合商社を目指して

代表取締役 社長COO 植村 幸祐

2024年9月、名古屋・大阪 個人株主説明会での写真

上期決算として堅調な滑り出し、 通期の目標達成を目指す

当年度は、「中期経営計画2026～Set for Next Stage～」の出発地点にあたります。ビジネス環境は非常に変化が激しく、先を読むのが難しい状況が続いておりますが、同計画でお示した定量・定性目標の達成に向け社員一丸となって取り組んでおります。当年度第2四半期の業績につきましては、市況等の影響はあるものの航空・社会インフラの分野や、省エネ・ESCO事業(※)、化学品トレードを中心に伸ばしているビジネスもあり、総合すると予定通りに進捗しております。通期の見通しについては、本部ごとにばらつきがあるものの、全体では期初見通しの1,100億円は達成する見込みです。引き続き、企業価値2倍のNext Stageに向け、既存事業を磨き、新規投資の継続・拡大により、稼ぐ力を強化すべく、果敢に手を打ち、やり切ってまいります。

「双日らしい成長ストーリーの実現」 に向けた取り組み

中期経営計画2026で新たなキーメッセージとして「双日らしい成長ストーリーの実現」を打ち出しております。今中計では、複数の事業の「点」を有機的につなぎ、「点」から「線」、「線」から「面」へと拡大させていくことで、双日らしい魅力ある事業の「カタマリ」をつくっていくことに注力してまいります。

カタマリ事業のひとつとして、ベトナムでの

事業展開があります。平均年齢が33歳と若く、人口が一億を超える同国で、卸売りから小売り、倉庫事業など市場成長が見込まれるリテール領域を強化しております。2023年11月には、ベトナムの業務用食品卸で最大手企業の全株式を取得しました。人口増加、および所得水準の向上に伴い、輸入だけでなく国内生産を行い、流通を確保することで顧客との関係を強化し、規模を拡大しております。

また、当社はタイにおいて50年にわたり肥料の製造・販売を行ってきました。フィリピンやベトナムでも同様の肥料事業を展開しており、3社合計で2024年3月期に約75億円の利益規模のカタマリを形成しています。これらを核とし、さらに農業全般へとビジネスの幅出しを行うことを目指します。その一例として、肥料事業から明らかになった農家の課題を、デジタル技術を駆使して解決できる、農業プラットフォームの構築を進めております。既存の肥料事業にデジタルを掛け合わせ、事業領域と収益規模の拡大を目指し、さらなる成長を目指してまいります。

そして、2024年10月に、米国で展開している省エネ・ESCO事業で新たにフリーステート社を買収しました。省エネルギーのニーズが着実に伸長するなか、当社は米国および豪州で、着実に収益を伸ばしてきました。既存事業にM&Aを通じて新たな機能と顧客基盤を加え事業と収益力の両方の拡大を図り、ひとつの大きなカタマリを確立していきます。

このような取り組みを通じて、安定的かつ

継続的な株主還元を実行してまいります。中期経営計画2026におけるキャッシュフローアロケーション方針において、基礎的営業キャッシュフローの3割程度を株主還元で充当することをお約束しております。この方針のもと、2024年10月から250億円または650万株を上限とした自己株式の取得を進めてまいります。双日らしい成長ストーリーを実現させ、皆さまにさらなる価値を提供してまいります。

多様な「個」の力を会社の成長につなげていく 独自の人的資本経営を推進

双日株式会社の発足から20年、当社は価値創造を通じて、着実な成長を続けてきました。歴史の中で受け継いできた先読み、変革、挑戦のDNAはいまでも、当社社員の思考と行動を律する指針として生き続けています。戦略遂行の土台である活力ある企業文化をさらに深化させていくことが私の重要な役割のひとつだと考えています。

事業活動におけるすべての起点は「人材」です。人を中心とした組織・経営を考えていきたいと思っております。「個々人の力」を自律的に成長させていくことと、そうした個の力を最大化させる「組織・風土」の活性化という、両軸の取り組みを通じて、成長のストーリーを描き、実績として具体的に示すことで、株主の皆さまや市場からの成長期待をさらに高め、企業価値2倍成長を目指します。

(※)ESCO事業: Energy Service Company事業の略
省エネルギー効果が見込まれるシステムを提案し、設備設置工事・維持・管理まで含めた包括的なサービスを提供する事業

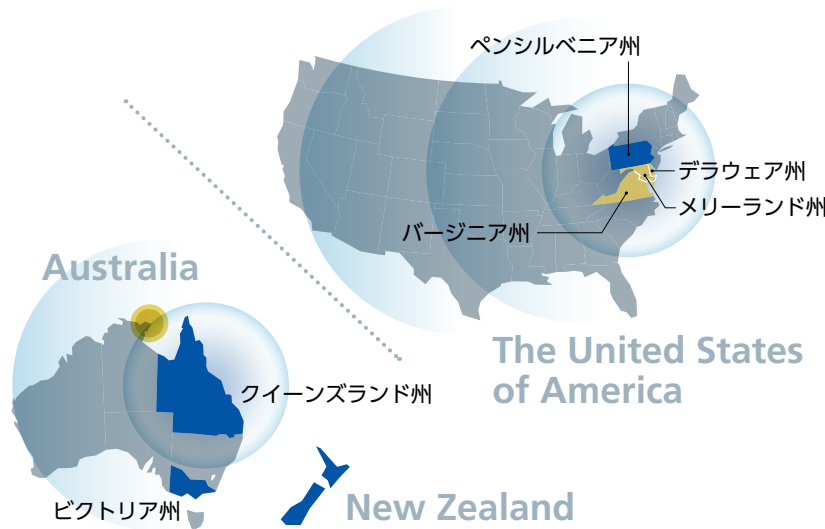
“双日らしい成長ストーリーのご紹介”

省エネ・ESCO事業

当社は米国首都圏で電気設備工事を提供するメリーランド州のFreestate Electric, LLC (以下「フリーステート社」)を買収いたしました。

これに至る歩みのなかで当社は、アメリカのみならず世界中で、発電所や変電所などの建設や運営に携わり、電力供給という基幹インフラを通して各家庭や産業の下支えとなっておりましました。そんななか転機となったのは、ペンシルベニア州のMcClure Company (以下「マクルーア社」) (※1)の買収でした。ユーザーの需要の根幹はどこなのかをマーケットイン(※2)の発想で捉え、電気代の大半を占める「空調」を中心とした工事により、ユーザーに省エネ機会を提供しています。

アメリカをはじめオーストラリアにおいても省エネ・ESCO事業を展開するなかで、「空調」にとどまらず、「電気」にも着目しました。電気



エネルギーソリューション事業 第四部 池川 晶貴

関連設備は、建物の構造において必要不可欠なものであり、フリーステート社は、教育機関、データセンター、病院、公共施設など幅広い分野で電気の設置工事や保守点検サービスを提供しています。空調に強みを持つマクルーア社との協業を通じて顧客基盤の拡大とさらなる価値を提供してまいります。

当社機能を拡大する方法についての試行錯誤を重ねてきましたが、結果的に、これまで当社が「発電や変電」という上流領域で培ってき

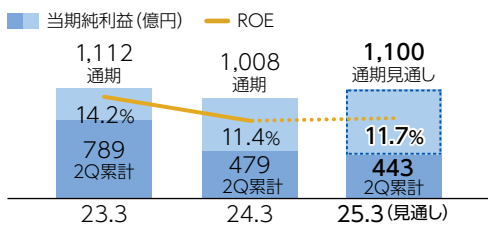
た知見やノウハウを、よりユーザーに近い部分となる下流領域の事業展開においても活かしていくことができると確信しております。今後は各社の強みを活かしたエネルギーソリューションを各ユーザーに提供し、カタマリの構築を通じて双日らしい成長ストーリーを実現してまいります。

(※1) 顧客に建物の省エネルギー設計やサービスを提案・導入する事業を手がけるMcClure Companyを2021年に連結子会社化
(※2) マーケットイン：商品やサービスの開発を行う際に、市場や顧客の視点に立ち、顧客のニーズに基いて商品を開発・提供すること

財務ハイライト | 2025年3月期第2四半期

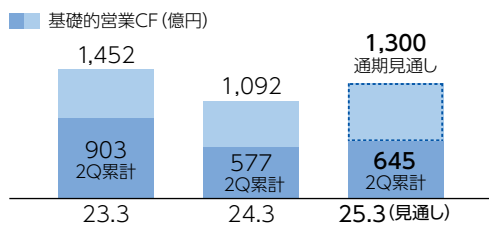
当期純利益(当社株主帰属)/ROE

当期純利益 **443億円** 前年同期比 36億円減



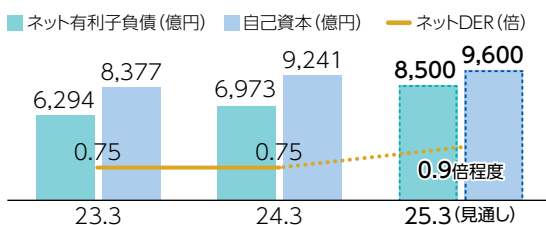
基礎的営業CF

基礎的営業CF **645億円** 前年同期比 68億円増



ネット有利子負債/自己資本/ネットDER

ネットDER **0.84倍** 前期末比 0.09ポイント増加



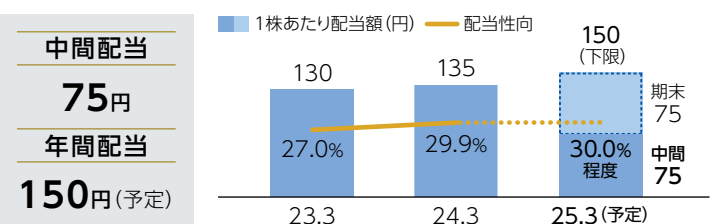
財務ハイライトの詳細はこちら

双日 決算 検索
<https://www.sojitz.com/jp/ir/meetings/financial/>

直近の業績と見通しはこちら

<https://www.sojitz.com/jp/ir/highlights/latest/>

配当



中期経営計画2026におけるキャッシュアロケーション方針のもと、株主還元の一環として、650万株、または250億円を上限とする自己株式の取得を進めております。

会社情報

2024年9月30日現在

会社名	双日株式会社	本社所在地	〒100-8691 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
(英文名)	(Sojitz Corporation)	設立	2003年4月1日
資本金	160,339百万円	電話	03-6871-5000

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 土・日・祝日等を除く平日 9:00~17:00

上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード:2768)

公告の方法
 電子公告により行います。
 公告掲載URL <https://www.sojitz.com/jp/koukoku/>
 *ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により公告いたします。

Information

2024年9月 名古屋・大阪 個人株主説明会レポート



9月25日、26日に名古屋市、大阪市において、個人株主さま向け説明会を実施しました。約500名の株主さまにご来場いただき、双日発足20周年の特別企画や、中期経営計画2026の進捗状況の説明、社長インタビューを行った後、質疑応答で多数のご質問とご意見をいただきました。

会場にお越しくださった株主さまには、試供品として双日グループ会社製品の「岩手三陸釜石プレミアム鮭三選」をお配りいたしました。

双日は、今後も株主さまとの対話を重視し、皆さまからのご意見をしっかりとつかいながら、経営を行ってまいりたいと考えております。

説明会資料、質疑応答要旨、動画はこちらからご覧いただけます。
<https://www.sojitz.com/jp/ir/meetings/share/>

